湘南学園中学校高等学校の取組

委員会活動

生徒主体の図書室づくり

1　活動の概要

「生徒による生徒のための図書室」を目標に、子どもたちが図書室運営に主体的に関っている。図書委員は自分の個性にあわせて、カウンター班・企画班・整備班・広報班のいずれかに所属し、選書や受入作業、展示といった日々の作業はもちろん、学内外を問わず幅広い活動を行っている。

2　活動の状況、実際

①オリエンテーション動画・教材作成

図書館オリエンテーションにて使用するドラマ仕立ての動画や、メディアの特性について学べるカードゲームを生徒が作成した。

②書店での選書ツアー、生徒作品の展示

書店に赴き、図書室に入れる本を生徒が選ぶツアーを実施している。また、中学生が作成した「本の表紙」の店頭展示を行っている。

③大学図書館・大学博物館ツアー

年に数回、生徒が大学図書館等を訪問するツアーを実施している。

④小学校や幼稚園での活動

近隣小学校にて本と POP の展示や委員会の活動紹介、その他ワークショップを生徒が企画したり、幼稚園での読み聞かせを行っている。

⑤チャリティ古本市＆レモネードスタンド

毎年学園祭にてチャリティ古本市とレモネード販売を行っている。

⑥「まんがで SDGs!!」企画

「SDGs アシストプロジェクト活動助成」を受け、SDGｓについて学べるマンガを紹介する冊子を生徒が作成し、学内外に頒布した。

3　参加者、指導者の声

・委員以外の生徒にも図書室の作業を手伝ってもらうなど、生徒の居場所となるような環境づくりに努めている（司書）
・書店に行って選書したり、受入作業をすることで「自分たちが図書室を作っている」という意識をもてる（生徒）
・ふだん読書をしないが、委員会活動や他学年との交流を通して、図書室に親しみをもつことができた（生徒）
・大学図書館ツアーを通し、大学での学びについてより深く具体的に考えることができた（生徒・中高教員）
・中高生との交流から、小学生が中高での生活や図書室に興味を持つことができた（小学校教員）